

# 雲林寺報

第5号

2010年春号

吾妻郡長野原町73

大洞山 雲林寺

TEL0279-82-2201



1月2日 新年祈禱会

## 春の彼岸、秋の彼岸

仏道実践の日

「お彼岸」という言葉には、あたたかいひびきがあります。春秋の年二回、この季節になるとほとんど人はお墓参りをします。そのため、お彼岸とは「お墓参りをする」と思い込んでいる人が多いようです。

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があります。春彼岸の頃は寒さもゆるみ、若葉が芽吹き新緑と花の季節は目前です。秋の彼岸の頃になると、夏の暑さも峠を越し、紅葉と実りの秋の訪れが待っています。お彼岸という、言葉の持つあたたかさはそのような季節感からくるものといえます。

実際、この時期はお墓参りに最も適している気候といえます。現在日本で定められている国民の祝日が何日かありますが、ほとんどの祝日は仏教とは関係のない日です。その中で、春と秋の「彼岸の中日」すなわち「春分の日」と「秋分の日」のみが仏教的風習から残されたものです。仏教行事には様々なものがありますが、特筆すべきは、お彼岸という仏教行事が日本独自のものという点です。彼岸の法要は「彼岸の始め」といふとよき日なりけり」と源氏物語にあることから、すでに平安時代から行われていたことは確かでしょう。民衆の間に広まったのは、祖霊信仰と結びついた江戸時代になってからとされています。

雲林寺住職 轟 紀久

## 3月16日 雲林寺総代会報告



三月十六日十八時より雲林寺総代会が開催されました。議事録は以下の通りになりました。

- 一、新任総代二名について
  - 四月三日の総代世話人会にて決定する。
- 一、会計交代について
  - 四月より宮崎昭央さんより長谷川誠さん、山口次夫さんが後任となり、引き継ぐ。いずれは護持会計報告を寺報にて檀信徒の皆様へ報告できるようにしたい。
- 一、秋の参拝親睦旅行について
  - 四月三日の総代世話人会にて場所等内容をつめていく。
- 一、橋場新墓地の規約について
  - 四月三日の総代世話人会にて規約内容をつめていく。

(出席者) 萩原昭朗さん、長谷川誠さん、桜井芳樹さん、宮崎昭央さん、野口敏幸さん、田村守さん、山口次夫さん、住職、副住職

一月から三月の行事報告

昨年十二月三十一日午後十一時四分より雲林寺鐘樓堂にて除夜の鐘を撞きました。一〇八回、参拝に来られた方に代わる代わる鐘を撞いて頂き、新年を迎えました。

一月二日、雲林寺総代・世話人による新年祈禱会が行われました。祈禱後新年会となり、年間行事等説明がなされました。

二月三日は節分会でした。二月一日に長野原在住の世話人さんによりくじ引き作り、景品の管理等準備をして頂き、当日は全地区世話人さんに会の進行をご協力頂きました。



12月31日～1日 除夜の鐘

録記載) お子様を中心とし皆様福豆を得ようと盛り上がりしました。

三月五日は群馬県第六教区護持会が伊香保温泉福一で開催され、雲林寺より五名の総代・世話人さんが参加されました。

(内容は下記) 議題の中で毎年秋に企画される第六教区主催の団体参拝旅行は来年に延期される事になりました。

当山雲林寺では単独での参拝親睦旅行を秋頃に検討しております。内容は全くの未定ですが、決まり次第世話人さんを通して皆様へご連絡致します。檀信徒様の親睦を深める為にも是



1月2日 新年会



3月5日群馬県第六教区護持会



節分会景品交換



2月3日 節分会

曹洞宗群馬県第六教区護持会総会に参加して

長谷川 誠

平成二二年三月五日、伊香保温泉福一に於いて、雲林寺檀家五名を含む約四〇名が出席し、午後二時より開催されました。教区長(常林寺高橋住職)並びに教区護持会長(蟻川林昌寺護持会長)から事業報告があり、続いて永林寺植木賢吾住職から会計報告があり、全て承認されました。又、新年度の参拝旅行については執行部に一任することで議事は終了しました。

暫時休憩の後、松島榮治先生による講演会となりました。議題「いのち」と家族について考える噴火で埋まった鎌原村において、当雲林寺に於いては平成十六年十一月一三日に浅間山焼けによる犠牲者供養碑が建設され、除幕式が執行されました。翌年以降は八月五日に供養祭が開催され、二年には松島先生をお招きし、同様の講演をして頂きました。先生は自ら発掘した観音堂石段で見つかったお婆さんと中年女性の遺体が物語っていることについて話されました。以下要約しますと

① 中年女性はお婆さんを背負い、石段を登っている途中で土砂に埋まった。もし背負っていないならば、助かったのではないかと。

② 弱い立場にある人を見捨てられなかったのだろうか。

③ 他人の「いのち」も自分と同様に大切にしたい。又、当時の鎌原村は一〇〇戸前後、人口五七〇人だったが生き残ったのは九三人だった。生活のために新たな家族を構成し、親を失った子供は老人所帯も引受けた。以上、文字通り「いのち」と「家族」について考えさせられる講演でした。

私達は幸いにして今日まで天災・事故等に遭遇しなかっただけで、生きていくという事は、常に死と背中合わせにいくことでもあります。今、生きていくことに感謝し、一日一日を大切に過ごしたいものです。最後に、総会資料の中に、私の琴線に触れる言葉がありましたので、紹介させて頂き、報告を終わりたいと思います。

「失敗が人生を駄目にするのではなく、失敗にこだわる心人間を駄目にする」

青山俊薫(しゅんとう) 無量寺東堂著  
お釈迦様の教え「人生を聞く」より

※教区：布教や法要の協力、檀信徒の指導・監督のために設けた区域のこと。

※東堂：前住職のこと。中国では古代から東を上位と考へ、皇帝が前皇帝に敬意を表す意味から前皇帝の寢室は東側につくられ、東堂と呼ばれた。のちに寺院でも同様に前住職を東堂と呼ぶようになった。



長谷川 誠さん

# 花祭り

4月5日~8日 本堂内

お釈迦さまの誕生を慶び、天に九匹の龍が現れて、甘露の雨を降り注いだ、という様子を模して、甘茶をかける様になり



お釈迦様の像に甘茶を注ぎお釈迦様の誕生日をお祝い致します。

4月8日は降誕会(こうたんえ)といって、お釈迦さまがお生まれになった日です。「花祭り」という名でも親しまれております。お釈迦さまの誕生日をお祝いするために、花御堂を飾り、甘茶を容れた甘露盤の中に、誕生仏(たんじょうぶつ)を安置し、小さな柄杓を備え、お像の頭上より甘茶をかけてお祝します。雲林寺ではより多くの皆様にお釈迦様に親しんでもらいたく、4月5日より4日間、本堂内に誕生仏を設置し、甘茶をご用意しております。お子様にはお菓子もご用意しておりますので、是非皆様お祝いにお越しください。

## 仏事のQ&A

Q 雲林寺のお盆行事、大施食会(せじきえ)の棚の上になすときゅうりが動物の様な姿で置いてありました。どんな意味があるのでしょうか?  
A オガラをさして作った牛(うし)と馬(うま)半(はん)ユウリン(ゆうりん)になります。先祖の霊が、牛や馬の背に乗ってきて、また帰っていくという言い伝えによります。お盆の準備は、お墓の掃除と仏壇の外に精霊棚をつくることの二つがあります。牛(うし)と馬(うま)半(はん)ユウリン(ゆうりん)はこの精霊棚に供えます。最近では、簡略化されて精霊棚を設けずに、仏壇をきれいにするだけで済みます。精霊棚は、小机などに白い布(はく)を敷き、中央に先



祖の位牌と仏壇を並べます。さらにダンゴ(だんご)を供え、精進料理(しんじゆり)やキキョウ(ききョウ)、オミナエ(おみなえ)、ハギ(はぎ)、山ユリ(さんゆり)、蓮の花(はな)などの盆花(ぼんが)で飾ります。

## 感謝録

二月三日節分会では、多くの方に御寄附御協力頂きましてありがとうございます。ご協力ありがとうございました。お陰様で今年も盛大な会となりました。

- 金壺萬圓 萩原昭朗
- 金伍仟圓 犬塚守人
- 山口次夫
- 桜井輝久
- 吉澤良夫
- 黒岩保男
- 割田三男
- 浅白観光
- 群北車両
- 宮崎保近
- 山口幸一
- 山口守利
- 柴崎高治
- 素都麻
- キューピット
- キョーエンゼル
- 坂井工業
- 井鉄工所
- 金二仟圓 (有)酒
- 竹内クリーニング
- 高橋昇
- グリーン食堂
- ひろみ美容室
- 萩原昭朗
- 土田稲栄
- 浅間酒造(株)
- 浅間観光センター
- 丸山商店
- 松屋金物店
- 油屋書店
- 電子体温計一〇台

## 大施食会 8月14日



一行が一時より法要が行われます。年一回にあたるご家庭には、事前に法要のご案内を郵送にてご連絡致します。是非お越し下さい。

今回も世話人さんをランダムでご紹介させていただきます。  
①名前②担当地区③趣味④人生で一番嬉しかった事

## 世話人さん紹介



- ① 豊田 清さん
- ② 川原 湯
- ③ 20歳で親を亡くし、結婚後も子供が多かった為、仕事一筋で趣味を持つ時間がなかった。仕事(建築業)が趣味の様なもの。
- ④ 22歳の時、一番最初に長男が誕生したこと。



- ① 野口 良平さん
- ② 川原 畑
- ③ 囲碁と読書。夏目漱石等愛読している。
- ④ 24歳から勤めた警察官を定年退職したこと。夜中に緊急の出勤等あったため、退職してホッとしている。

# 梅花流たより



一月も中旬になると忙しさも一段落したところで梅花講では新年会と共に雲林寺の境内にある観音堂(馬頭観音)をお参り致します。

三原三十四番礼所第一番観音の御詠歌を皆様と共にお唱えし今年一年は無事を祈ります。昭和の中頃までは馬を扱っておられる人が大勢お参りされたのですが今でも根強い信仰の拠り所となっています。

## 第十六回梅花講員一泊研修会に参加して

依田たつ子

毎年伊香保の「ホテル天坊」で行われる梅花流講員の研修会が今年も二月九日〜十日の一泊二日で二五九名の参加者で開催されました。

一日目の午前の部は全体研修で仁科講師のご指導のもと「三宝賛歌」を二部に分かれて、ハーモニウムも良く気持ち良く歌いました。



2月9日 一泊研修会



1月18日 初観音様

午後の部は各班に分かれて、一時〜五時半まで各自の課題曲を中心に、本気になって各講師の先生方からご指導を頂きました。雲林寺の省吾講師にも教えて頂く機会に恵まれ難しい「所作」等丁寧になりやす〜ご指導して頂き、感謝の念でいっぱいです。

二日目は、午前八時四〇分〜十時まで各班の研修、その後全体研修となり、土屋講師のご指導で「報謝」を唱え、十一時半で終了しました。

他地区の講員さん達と一緒に研修する事はとてもためになり励みにもなりました。

有意義な二日間でした。大変お世話になりました。

## 講員募集中

雲林寺では毎月2回2時間程度ご詠歌(梅花流)の会がございます。参加費無料。ご詠歌は、ご供養の気持ちをご心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

## こども禅の集い 参加者募集

群馬県曹洞宗青年会主催による第八回こども禅の集いが七月二十八日、二十九日の一泊二日で開催されます。

今回、轟省吾副住職が実行委員長に就任致しました。

この坐禅会の基本運営方針はこどもたちが坐禅会を通じて宗門に親しむとともに、日常生活の中で礼儀や作法を学んでもらい、今後の生活に役に立つ経験を頂く事です。

今年も会場に雲林寺と親戚関係にある泰寧寺(利根郡みなかみ町須川九八)をお借りする事となりました。

是非お子様、お孫様に楽しく、ためになる良い経験ができるよう、奮ってのご参加心よりお待ちしております。

※参加御希望の方はお気軽にお問い合わせお申込み下さい。

対象：小学校3〜6年生  
参加費：4千円  
(1泊4食付き)

### 昨年のスケジュール



時間	7月23日(木)	時間	7月24日(金)
9:00		5:00	
9:30		5:30	起床
10:00	受付	6:00	坐禅
10:30	オリエンテーション	6:30	朝のおつとめ
11:00	開講式	7:00	ラジオ体操
11:30		7:30	掃除
12:00	班別懇談会	8:00	朝食
12:30		8:30	
13:00	昼食	9:00	法話
13:30		9:30	
14:00	坐禅	10:00	楽しいつどい
14:30	掃除	10:30	
15:00	記念撮影	11:00	坐禅
15:30		11:30	
16:00	楽しいつどい	12:00	昼食
16:30		12:30	感想文
17:00	入浴	13:00	掃除(荷物整理)
17:30		13:30	閉講式
18:00	夕食	14:00	解散
18:30		14:30	
19:00	坐禅	15:00	
19:30		15:30	
20:00	就寝準備	16:00	
20:30	就寝	16:30	
21:00		17:00	
21:30		17:30	
22:00		18:00	
22:30		18:30	

## 編集後記

春彼岸も終わり、いよいよ春一番といったところでしようか？冬の寒さやつらさにじっと耐えて、蓄えられた「いのち」「ちから」が色とりどりの花や緑の木々となって芽吹くこの季節に自然の素晴らしさを毎年感じます。

さて、人類(衆生)は宇宙自然(法界)の力によって生かされています。

宇宙自然の力とは地球にあっては空気や太陽の光、熱などで、それによって衆生と法界の関係を知り「私」と衆生、「私」と法界の関係を知ることが「如実知自心」です。

小さな我を衆生へ、法界へと放ち開くとき、宇宙と一枚になった「大我」が活動しはじめます。「大我」につらぬかれたるいのちを、今ここに生かされている己の心を通して知ること、それが如実知自心です。

副住職 轟 省吾



曹洞宗のラジオ番組  
文化放送にて毎週日曜日朝の五時二十五分より「禅のこころ」という曹洞宗の番組が放送されています。法話等が聞けます。是非御聞き下さい。